安全データシート

１．化学品及び会社情報

製品名	レノクリーン Z	
SDS番号	400903-007	
作成日	2023/03/10	
改訂日	2025/04/04	
供給者の会社情報	会社名	：フックスジャパン株式会社
	住所	：東京都港区虎ノ門5-12-1，虎ノ門ワイコービル5F
	電話番号	：03-3436-8303
製造業者の会社情報	会社名	：フックスジャパン株式会社
	住所	：三重県伊賀市大内字三郎谷408-3
	電話番号	：0595-20-1114
推奨用途		洗浄剤(カタログを参照して下さい)
使用上の制限		推奨用途以外には使用しないこと

２．危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：区分4(混合物中の93.6%の成分は急性毒性が未知である)
皮膚腐食性／刺激性	：区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：区分2(神経系)

上記に記載されていないGHS分類項目は、『分類できない』、又は『区分に該当しない』のいずれかに該当する。

GHSラベル要素

絵表示 ：

注意喚起語 ：危険

危険有害性情報 ：飲み込むと有害(H302)

：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314)

：長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経系)の障害のおそれ(H373)

注意書き

安全対策 ：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと(P260)

：取扱後は製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱い後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。(P264)

：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置　：直ちに医師に連絡すること。(P310)
：気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。(P314)
：特別な処置が必要である。(P321)
：汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
：飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P312)
：飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
：皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
保管　：施錠して保管すること。(P405)
廃棄　：内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

成分名	含有率(%)	CAS RN®	官報公示整理番号		化管法
			化審法	安衛法	
２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール	1-5	112-34-5	2-422, 7-97	2-(8)-99 (2-(8)-317)	第一種627
２－（メチルアミノ）エタノール	1-5	非開示	—	—	—

その他の成分は、企業秘密のため記載しない。
化管法欄に化管法物質番号がある場合、物質名及び含有量は「15. 適用法令」に記載している。

４．応急措置

吸入した場合　：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合　：水と石鹸で洗うこと。
：直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。
：次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。
：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状　：情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項　：情報なし

医師に対する特別な注意事項　：情報なし

５．火災時の措置

適切な消火剤　：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤　：情報なし

火災時の特有の危険有害性　：火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法　：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
：容器が熱に晒されているときは、移動しない。
：安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置　：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　：全ての着火源を取り除く。
：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
：関係者以外の立入りを禁止する。
：密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項　：情報なし

封じ込め及び浄化の方法及び機材　：不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策　：情報なし

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項　：消防法の規制に従う。
：炎や高温のものから遠ざけること。
：適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
：取扱い後はよく手を洗うこと。
：眼に入れないこと。
：皮膚との接触を避けること。

接触回避　：情報なし

衛生対策　：情報なし

保管

安全な保管条件　：消防法の規制に従う。
：施錠して保管すること。

安全な容器包装材料　：情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／濃度基準値

化学名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	濃度基準値
２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール	－	－	－	八時間:60mg/m3

設備対策　：取扱い場所の近くに、眼及び身体の洗浄設備の設置を推奨
蒸気、ミスト、煙等が発生する場合、発生源の密閉化や排気装置の設置を推奨
屋内で使用する場合、適切な局所排気装置又は換気設備の設置を推奨
局所排気装置又は換気設備を設置する場合は、必要に応じて防爆型を用いること。

保護具

呼吸用保護具　：呼吸用保護具（防じんマスク/防毒マスク）を着用すること。

手の保護具　：不浸透性の保護眼鏡を着用すること。

眼，顔面の保護具　：不浸透性の保護手袋を着用すること。

皮膚及び身体の保護具　：不浸透性の保護衣、履物を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理状態　：液体

色　：無色

臭い　：微臭

融点／凝固点　：情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲　：情報なし

可燃性　：情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界　：情報なし

引火点　：情報なし

自然発火点　：情報なし

分解温度　：情報なし

ｐH　：11.8(原液)

動粘性率　：情報なし

溶解度　：水に可溶

n-オクタノール／水分配係数（log 値）　：情報なし

蒸気圧　：情報なし

密度及び／又は相対密度　：1.04g/cm3(15℃)

相対ガス密度　：情報なし

粒子特性　：情報なし

その他のデータ　：情報なし

１０．安定性及び反応性

反応性　：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

化学的安定性	：情報なし
危険有害反応可能性	：情報なし
避けるべき条件	：情報なし
混触危険物質	：亜硝酸塩　（発がん性物質のニトロソアミンを形成する可能性がある。）
危険有害な分解生成物	：情報なし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）

情報なし

急性毒性（経皮）

情報なし

急性毒性（吸入：気体）

情報なし

急性毒性（吸入：蒸気）

情報なし

急性毒性（吸入：粉塵ミスト）

情報なし

皮膚腐食性／刺激性

２－（メチルアミノ）エタノール	：区分1 ウサギ皮膚に1～4時間適用し「腐食性あり（corrosive）」の結果（IUCLID（2000））に基づく。なお、pHは13.4（100ml/L）（IUCLID（2000））であり、EU分類ではC;R34（EU-Annex1（Access on Aug. 2008））である。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

２－（メチルアミノ）エタノール	：区分1 ウサギを用いた眼刺激性試験の結果がGrade 9（範囲Grade1-10）（PATTY（5th, 2001）であり、皮膚に対し腐食性を示すデータがある（IUCLID（2000））。
２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール	：区分2A ウサギの眼に本物質0.1 mLを適用した結果、中等度の眼刺激性が認められたが14日以内に回復した（ECETOC TR 64（1995）、ACGIH（7th, 2001）、PATTY（6th, 2012））との報告がある。なお、本物質は、EU CLP分類において「Eye. Irrit. 2 H319」に分類されている（ECHA CL Inventory（Access on June 2015））。中等度の刺激性との記載、及び回復性の記載からガイダンスに従い区分2Aとした。

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

生殖毒性／授乳への影響

情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

情報なし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

２－（メチルアミノ）エタノール	：区分1(精巣) ラットに400 mg/kg/dayを32日間経口ばく露（90日補正：約142 mg/kg/day）により、腎臓など一部の臓器重量の有意な増加、血液検査値の軽度変化、さらに組織学的には肝臓と精巣における軽度の変化が観察されている（IUCLID（2000））。一方、0.005 - 0.03 mg/L/24h（0.01 - 0.06 mg/L/6h/day）を90日間吸入ばく露の結果、ラットおよびモルモットでは試験物質の影響は見られていないが、イヌを用いた90日間の吸入ばく露試験（用量：0.005, 0.03 mg/L/24h（0.02, 012 mg/L/6h/day））で用量依存的な精細管の萎縮と012 mg/Lの用量で精巣の重量減少が認められ、精巣への影響が区分1の用量で報告されている（IUCLID（2000））ことより区分1（精巣）とした。
２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール	：区分1(肝臓、呼吸器系) ヒトに関する情報はない。 実験動物では、ラットを用いた5週間吸入毒性試験において、117 mg/m3（ガイダンス値換算：0.0325 mg/L）で肝臓の相対重量増加、肝細胞脂肪変性がみられている（EU-RAR（2000））。また、ラットを用いた2週間吸入毒性試験において、100 mg/m3（ガイダンス値換算：0.011 mg/L）で血管周囲及び気管支周囲の顆粒球白血球の細胞浸潤、細気管支化、肺重量増加がみられている（EU-RAR（2000））。これらはいずれも区分1の範囲でみられた。なお、血液系（赤血球）への影響として溶血がみられたが区分2の範囲を超える用量であった。 ラットを用いた6週間強制経口投与毒性試験において、溶血性貧血、肝臓重量増加、前胃の角化亢進・棘細胞増生がみられ（EU-RAR（2000）、PATTY（6th, 2012）、DFGOT vol. 7（1996））、13週間飲水投与毒性試験において溶血性貧血、肝臓重量増加がみられた（PATTY（6th, 2012））。これらは区分2の範囲を超える用量であった。 ラットを用いた13週間経皮投与毒性試験において、全身影響はみられていない（EU-RAR（2000）、PATTY（6th, 2012））。 したがって、区分1（呼吸器、肝臓）とした。 旧分類では吸入経路での毒性影響が明確でないことから分類できないとなっていた。しかし、得られた吸入経路の情報から分類が可能であった。

誤えん有害性

情報なし

１２．環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）

情報なし

水生環境有害性 長期（慢性）

情報なし

オゾン層有害性

情報なし

生態毒性・魚毒性	：情報なし
生態毒性・無脊椎動物毒性	：情報なし
生態毒性・藻類毒性	：情報なし
残留性・分解性	：情報なし
生体蓄積性	：情報なし
土壌中の移動性	：情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。
　　：都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
　　：焼却処理をする場合には、引火性物質を含むので注意して行う。

汚染容器及び包装　：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

１４．輸送上の注意

国連番号　：3267

品名（国連輸送名）　：腐食性物質を含む物質

国連分類　：クラス8 腐食性物質

容器等級　：Ⅲ

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策　：情報なし

国内規制

陸上輸送　：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送　：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送　：航空法に定められている運送方法に従う。

１５．適用法令

消防法　：非該当

化学物質把握管理促進法　：第一種 ジエチレングリコールモノブチルエーテル 3.0%

毒物及び劇物取締法　：非該当

労働安全衛生法　：第57条 名称表示物質（２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール）
　　：第57条 名称表示物質（２－（メチルアミノ）エタノール）
　　：第57条の2 通知対象物（２－（２－ブトキシエトキシ）エタノール）
　　：第57条の2 通知対象物（２－（メチルアミノ）エタノール）
　　：第594条の2 皮膚等障害化学物質（２－（メチルアミノ）エタノール）

高圧ガス保安法　：非該当

法規制については、現時点での原料購入先、又は製造元からの情報をもとに判断している。
今後新たな知見や情報が判明した場合、上記の情報について変更が生じる可能性がある。

１６．その他の情報

訓練方法

このSDS を参照すること。

参考文献等

自社製品測定データ、社内情報

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) 「GHS関連情報」

日本規格協会(JIS) JISZ7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

安全衛生情報センター 「GHS対応モデルラベル・モデルMSDS情報」

記載内容の取扱い

この「安全データーシート」は、当社の製品を適正にご使用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の使用を対象としている。
全ての資料や文献を調査したわけではないため情報の漏れや、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがある。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものであるが、情報の完全さを保証するものではない。
又、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがある。

また、現場責任者は取扱いについて十分に現場作業者の方へ教育を行うこと。

重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお薦めする。
記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質などの値は、品質保証値ではない。
ここに記載された内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではない。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。